

遠野東中学校区学校運営協議会

青笹地区「こども本の森 遠野へ行こう」活動事例発表



遠野東中学校区エリアコーディネーター
新田依子

本日の アジェンダ

1. 自己紹介
2. 青笹小学校部会委員と部会の取り組み
3. 「こども本の森遠野へ行こう！」について
4. 成果と課題について
5. これから

1. 自己紹介

- 遠野市教育委員会では、令和4年度から学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を導入し、学校と地域をつなぐエリアコーディネーターを、中学校区に1名配置しています。
- 遠野東中学校区を担当している **新田 依子**（**にった よりこ**）です。
- 遠野市少年センターの専任少年委員の仕事や、PTA活動・図書ボランティアなどの経験を活かし、学校と地域の橋渡しができるように力を尽くして参ります。
- 令和4年度は、月1回～2回のペースで学校訪問を実施し、先生方からお話をお伺いしています。

2. 青笹小学校部会委員と部会の取り組み

- 【部会委員】
- ① 鈴木 久美子 青笹小学校校長
 - ② 馬場 貴之 副部長・青笹小学校PTA会長
 - ③ 佐々木 謙 部長・青笹町地域教育協議会会長
 - ④ 奥寺 陽一 青笹しし踊り指導者
 - ⑤ 藤田 貞子 青笹児童館主任
 - ⑥ 三浦 国子 青笹保育園園長
 - ⑦ 阿部 さち 民生委員・地域婦人団体協議会員
 - ⑧ 新田 依子 エリアコーディネーター

【令和4年度の取り組み】

- ・ 5月 9日（月）第1回青笹小学校部会 役員選任、意見交換など
- ・ 8月 8日（月）青笹児童館こども本の森 遠野へ行こう！①
- ・ 9月15日（木）第2回青笹小学校部会 授業参観、今後の活動について
- ・ 11月21日（月）青笹児童館こども本の森 遠野へ行こう！②
- ・ 令和5年2月1日（水）
第3回青笹小学校部会（予定）



3. 青笹地区「こども本の森 遠野へ行こう！」について

【経緯】

これまでも、青笹町では学校と連携して読書活動の推進に取り組んでおり、5月に実施した第1回学校部会において、今年度は「読書活動の推進」と「あいさつ」を柱に取り組みを進めていけばよいのではないかとこの意見がだされました。

【青笹町地域教育協議会での読書支援について…】

【学校部会での意見と子どもたちの実情】

青笹小学校部会では…

『こども本の森遠野』は素晴らしい施設だが、青笹小学校の子どもたちにとっては、少し遠い存在なのではないか？

青笹児童館では…

「こども本の森へ行こう」という取り組みは知っているけど、スタッフ不足で子どもたちを安全に連れて行けるか不安…

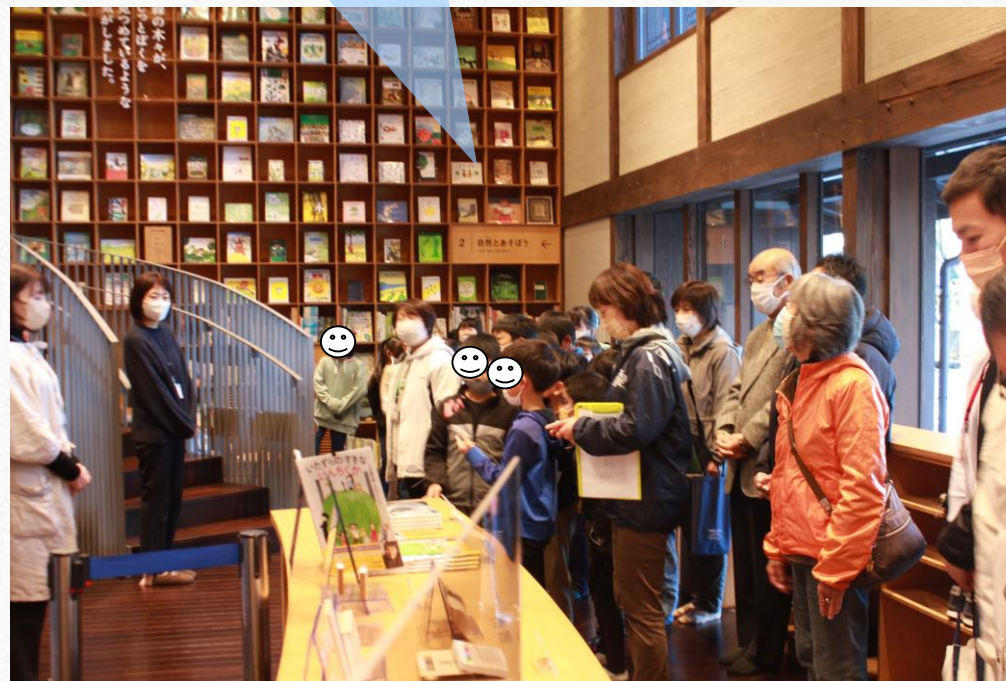
双方の話を「**聞いて**」「**つなぐ**」コーディネーターの役割!!

【当日の様子】

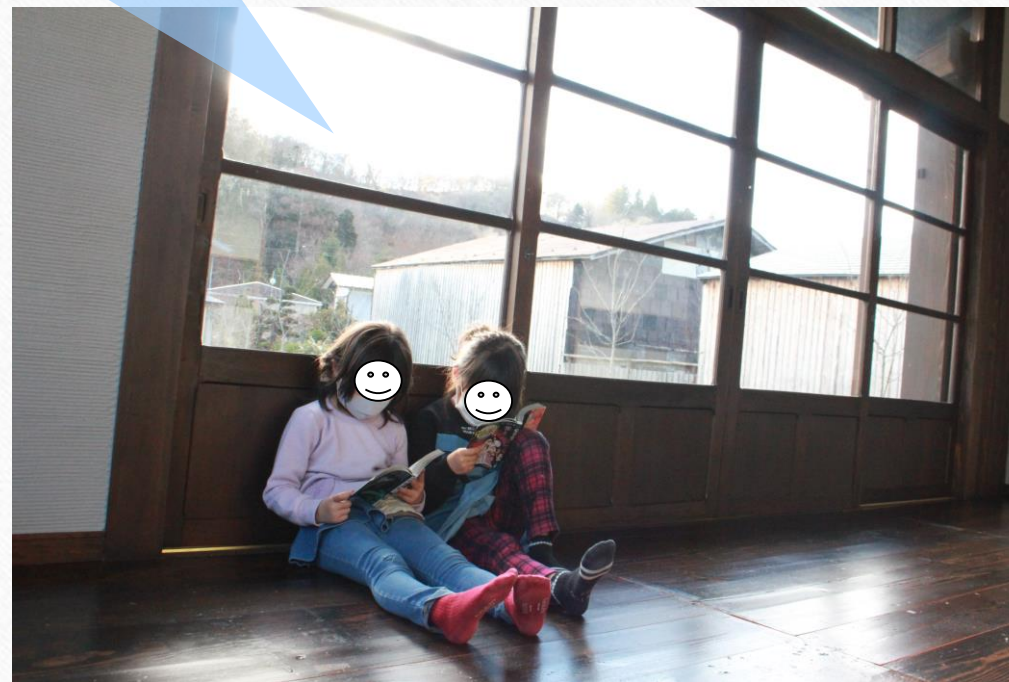


わ~い、ついたよ!

よろしくおねがいます。



この場所、落ち着くんだよね…



絵本も漫画もたくさん!



こども本の森スタッフさんによる
読み聞かせ



【参加した子どもたちと見守りの大人の声】

・こども本の森が森のようにあって、その中でも「夏目友人帳」という本が楽しかったです。友達も一緒に行ったのでさらに楽しかったです。また行きたいです。

・たくさん本を読めて良かったし、読み聞かせもおもしろかったです。

・見たこともないくらいとても素敵なところで、行って良かったです。



・PTAとして見守りに参加したが、それほど負担なくできたので、次回も参加できると感じた。

・地域の見守りとして、子どもたちがのびのびと楽しむ様子を見ることができてよかった。

4. 成果と課題

【成 果】

- ①子どもたちが楽しく本に触れる様子から、情報メディアとは違う楽しみを体験したことで、読書活動の推進に一定の効果があったと思われること。
- ②既存の取り組みを活かして、活動を重ねるうちに「ひろがり」がみられたこと。

【課 題】

- ①取り組みの「評価」に向けたイメージを持っておくこと。
- ②生まれた「ひろがり」を他の取り組みでも活かしていくイメージを、幅広い関係者と共有すること。

5. これから

- ①読書推進の取り組みを、次年度以降どのように進めていくか学校と地域で情報共有する。
- ②他の地域の『既存の取り組み』を知るための情報収集。
- ③より深く『学校』と『地域』との関りを持つ。

ご清聴ありがとうございました

